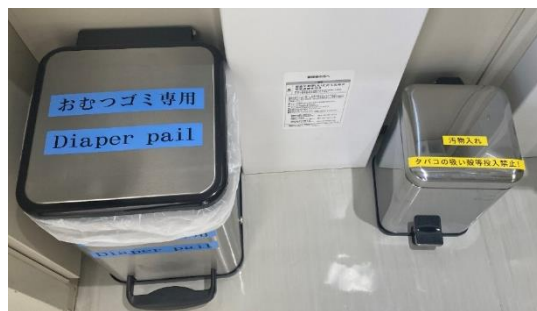


【事例1】男性用トイレのサニタリーボックス

- 病気などが原因で尿漏れ用のパッドを使用している男性や、男性に性別移行したトランスジェンダーで生理のある方など、男性用トイレを利用する人の中にも、サニタリーボックス（汚物入れ）を必要とする方がいます。



※男子トイレ個室におむつ交換台があるため、おむつ用のゴミ箱と区別している。

【事例3】荷物かけ用フックの数や高さへの配慮

- オストメイト用設備を使用する方は手荷物が多くなるため、手荷物用フックを複数設けると利便性が増します。
- さらに、車椅子利用者や利用する人の身長等に配慮するため、高さの違う位置への設置が望ましいです。



【事例2】男性用小便器そばの杖ホルダー

- 小便器や洗面台の利用に際し、杖や傘を立てておくためのフックがそばにあると利便性が増します。



利用者の視点に立った環境整備のポイント

- 1 利用者の困りごとやニーズを理解した上で、施設の用途や規模に応じた対応を検討し、可能な環境整備を行います。
- 2 整備後も使い勝手を継続的に検証し、改善を重ねることにより、全ての人々がストレスなく利用できるトイレ環境に近づきます。